

フィンランドの ネウボラから学ぶ 日本の母子保健の未来

参加費
無料

定員250名

平成29年11月3日 祝・金 13:00~16:00
(受付開始:12:30)

会場 大阪市立大学医学部学舎 4階 大講義室 大阪市阿倍野区旭町1丁目4-3

ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味し、妊娠期から就学前にかけての子どもと家族を支援するための地域拠点となっています。本講演では、フィンランドの母子保健システムとネウボラの保健師活動の報告ならびに、日本とフィンランドの母子保健に関する比較研究および産後ケアの効果的な事業展開を紹介し、これからの母子保健における切れ目ない妊娠・出産・子育て支援のあり方を検討する機会とします。

プログラム

ショート メッセージ

「実体験から語るフィンランドのネウボラ」

Markus Kokko 氏 (フィンランド大使館報道・文化担当参事官)

講演 1

「Maternity and child health clinic services in Finland」

Tuovi Hakulinen 氏 (National Institute for Health and Welfare, Finland, Research Director, PhD)

講演 2

「ネウボラで活躍しているフィンランドの保健師と日本の保健師活動の未来」

横山 美江 氏 (看護学研究科 公衆衛生看護学教授)

講演 3

「子育て世代包括支援センターとネウボラの理念」

佐藤 拓代 氏 (大阪府立病院機構大阪母子医療センター 母子保健調査室長)

事例報告

「豊中市における母子保健の取り組み」

岸田 久世 氏 (豊中市保健所健康増進課主幹)

申し込み方法 e-mailもしくはFAXにてお申し込みください。

申込時には①名前、②所属、③連絡先を記載してください。(複数でお申し込みのされる場合は、全員分の氏名と所属をご記載ください。)

e-mail office@nurs.osaka-cu.ac.jp F A X 06-6645-3513

申込締切 10月20日(金)まで

申し込み・問い合わせ先

大阪市立大学医学部看護学科・看護学研究科事務室

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目5-17

T E L 06-6645-3511 F A X 06-6645-3513 e-mail office@nurs.osaka-cu.ac.jp



後援: フィンランド大使館、大阪小児保健研究会、公益社団法人 大阪府看護協会、
大阪市立大学医学部附属病院看護部、大阪市立大学看護系同窓会「よつば会」

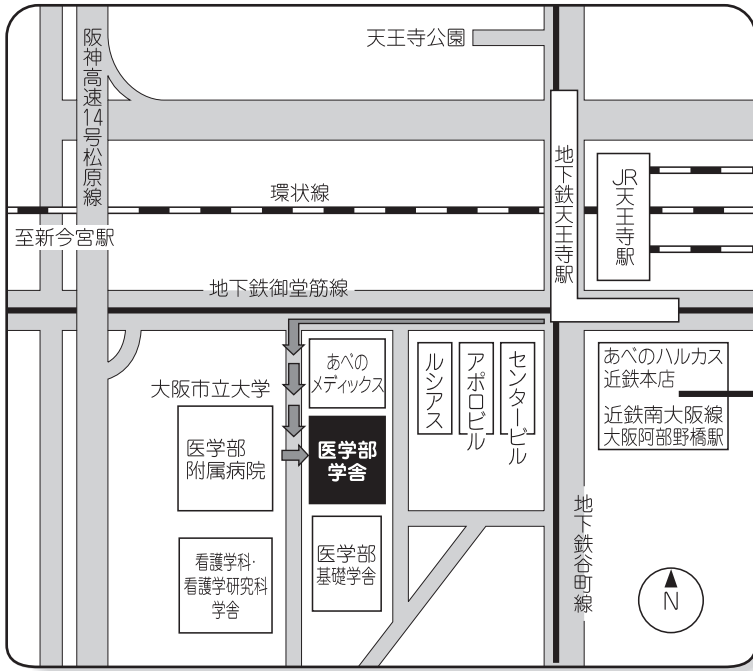
※講師・演者は都合により変更することがあります。

第14回大阪市立大学大学院看護学研究科講演・シンポジウム—国際講演会— フィンランドのネウボラから学ぶ日本の母子保健の未来

参加申込み用紙

交通のご案内

申込み方法



以下の方法より**事前**にお申込みください。
(1通で複数の方のお申込みも可能です。)

F A X 下記にご記入のうえ、送信してください。

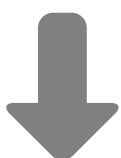
Eメール 参加希望と氏名、住所・電話番号をご記入ください。
office@nurs.osaka-cu.ac.jp

※ホームページ 看護学研究科ホームページからもご覧になれます
<http://www.nurs.osaka-cu.ac.jp/>

当日は、矢印の場所にある医学部学舎1階入口からお入りください。

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学医学部学舎4階 大講義室

ご氏名	ご所属	FAX番号・電話番号 連絡可能なFAX番号をご記入ください
		FAX ----- TEL
		FAX ----- TEL
		FAX ----- TEL
		FAX ----- TEL
		FAX ----- TEL



FAX送り方向 FAX 06-6645-3513

会場受付が定員を超えた場合にはご連絡をさしあげますので、必ず連絡可能なFAX番号のご記入をお願い致します。